



目次

- 「森林経営管理制度」の説明会が行われました p1
- 若柳大橋・川南高架橋の耐震補強工事等の進捗状況 p2
- 「国土強靱化」河川の支障木撤去を行っています p3
- 歯科診療所職員を対象に「感染症対応研修会」を開催しました p4
- 台風19号による農地・農業用施設関連の被災状況について p5
- 県営ほ場整備事業「稲屋敷・袋地区」で安全祈願祭が行われました！ p6
- 中山間地域等直接支払研修会が開催されました！ p7
- 令和元年度栗原管内農地集積研修会を開催しました！ p8
- 令和元年度栗原地域農業経営セミナーを開催しました！ p9
- 令和元年度栗原市畜産講演会が開催されました p10
- 「会席料理 丸勝」が地産地消部門の特別賞を受賞しました p11
- 栗原地域農泊・民泊研修会を開催しました p12
- 【観光情報】楽しみがいっぱい 春のくりでんミュージアム p13
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p14



「森林経営管理制度」の説明会が行われました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

令和2年1月18日(土) (会場：栗原文化会館)、令和2年1月25日(土) (会場：瀬峰テアリホール)、栗原市主催による標記説明会が開催されました。

平成31年4月施行の「森林経営管理法」により、適切な森林環境の維持と林業の成長産業化をめざし、管理の行き届かない森林について、所有者からの委託を受け、市町村が管理事業を行う制度がスタートしています。これを受け、栗原市では今年度、築館、高清水、志波姫、及び瀬峰地区の人工林所有者へ、今後の森林管理の意向を調査しました。また、説明会には、築館会場に98名、瀬峰会場に65名が訪れ、管理委託の解説や経費負担について、活発な質疑応答が行われました。参加者の中には、今後の所有林の扱いを決めかねている方や管理委託を希望している方も多かったことから、意向調査の結果をとりまとめた上で、委託を希望する森林の現地確認などの情報収集を進め、次年度以降は当制度による森林管理が開始される予定です。



築館会場での説明会の様子

■お問い合わせ 林業振興部林業振興班 Tel : 0228-22-2381

若柳大橋・川南高架橋の耐震補強工事等の進捗状況

北部土木事務所栗原地域事務所

一級河川の迫川に架かる若柳大橋と川南高架橋の耐震補強工事等を平成31年3月から着手し施工しておりますが、現在の進捗状況についてお知らせします。

若柳大橋の施工箇所は橋の下が多く、下部工（橋を支えるコンクリートの柱）3基の耐震補強や、地震等の揺れがあったときに上部工（主に道路となっているところ）が落橋しないように下部工と繋ぐ落橋防止装置の設置、下部工が上部工を支えるための支承の補修、路面からの排水を橋の下に流す管の補修、橋の端と道路を繋ぐギザギザした伸縮装置の取替を行っており、春先の完成を目指しています。また、来年度に残り1基の下部工の耐震補強を行うために、現在工事用の仮橋の設置を進めています。

川南高架橋は、下部工の耐震補強工事が完成したので、今後は上部工の補修を行うとともに、地震で落橋しない様にするために、大きな金具による耐震補強や伸縮装置の取替を進めていきます。

工事の際には、片側交互通行の交通規制を行うことがありますので、通行される皆様には、ご理解とご協力をお願いします。



仮橋施工中(下流側)



仮橋施工中(上流側)

■お問い合わせ 道路管理班 Tel : 0228-22-2179

「国土強靱化」河川の支障木撤去を行っています

北部土木事務所栗原地域事務所

迫川、二迫川、三迫川の立木や笹竹による流下阻害を解消するため、国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」事業を活用し、昨年8月から支障木撤去を実施しています。

なお、来年度も引き続き、迫川、二迫川、三迫川の支障木の撤去を行う予定です。近隣住民の方々には、工事用車両の通過や騒音等でご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



二迫川 防等橋付近 撤去前



二迫川 防等橋付近 撤去後



迫川 徳富橋付近 撤去前



迫川 徳富橋付近 撤去後

■お問い合わせ 河川砂防班 Tel : 0228-22-2193

歯科診療所職員を対象に「感染症対応研修会」を開催しました

北部保健福祉事務所栗原地域事務所(栗原保健所)

栗原地区地域医療対策委員会、栗原市歯科医師会、栗原保健所が主催し、令和元年12月19日、歯科診療所職員を対象とした「感染症対応研修会」を開催しました。

この研修会は、歯科診療所の職員が、医療安全や院内感染対策の最新の知見を学び、住民にとってより安全で安心できる歯科医療の提供が図られることを目的として管内で初めて開催したもので、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士他35人の皆様に御参加いただきました。

東北大学大学院歯学研究科分子・再生歯科補綴学分野 江草宏教授からは、「歯科領域における医療安全・院内感染対策の現状と課題」と題し、動画等を用いながら、歯科用器具の滅菌方法の最新情報、水の管理、医療機器定期点検の重要性等を講義していただきました。医療法人盟陽会富谷中央病院の中澤正絵歯科衛生士長からは、「当院の歯科感染対策の実際」と題し、具体的な方法や工夫が紹介されました。

参加者からは、「感染対策の意識が更に高まった」「滅菌に対する考え方が変わった。」「衛生管理のモチベーションが上がった。」等など多くの感想が寄せられました。

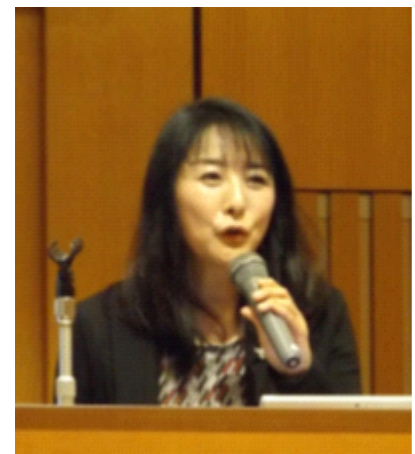
保健所では医療法第25条に基づき、医療機関立入検査を実施していますが、本研修会に参加された歯科診療所の検査結果は概ね良好であったことから、本研修会は一定の効果があったと感じています。



東北大学大学院
江草教授



熱心に聴講する参加者の皆様
(会場：エポカ21)



富谷中央病院
中澤歯科衛生士長

■お問い合わせ 地域保健福祉部疾病対策班 Tel : 0228-22-2117

台風19号による農地・農業用施設関連の被災状況について

北部地方振興事務所栗原地域事務所

令和元年10月12日から13日にかけての台風19号では、当管内においても築館観測所で観測史上上位の降雨量を記録するなど記録的な大雨・暴風となり、この影響により管内全域で様々な被害が発生しました。

農地・農業用施設関連においては、農地の冠水や揚排水機場の浸水、農道・水路等の土砂崩れなど785件の被害が確認され、被害額は約13億5千万円となっています。

このうち100件については、国庫補助を活用した災害復旧工事を実施するため、令和元年12月9日から27日にかけて、被害の程度や被災原因、復旧工法について国が確認・審査する災害査定が行われました。

現在は、各施設の管理主体となる栗原市や関係土地改良区が中心となって復旧に取り組んでいます。県では、早期の復旧及び営農再開を目指して支援して参ります。



農道の法面崩落



揚水機場の浸水

■お問い合わせ 農業農村整備部水利施設保全班 Tel:0228-22-2435

県営ほ場整備事業「稲屋敷・袋地区」で安全祈願祭が行われました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

令和元年10月29日（火）、栗原市栗駒稲屋敷で今年度区画整理工事を施工している宮城建設株式会社が主催する安全祈願祭が執り行われました。安全祈願祭とは、土木工事等を行う前にその土地の神様を祀り、事業や工事の無事をお祈りする行事のことで、地鎮祭とも呼ばれることがあります。

県営ほ場整備事業「稲屋敷・袋地区」は平成30年度に事業が採択され、令和元年度から本工事に着工しています。当日は神様へお供えものを献上する献饌けんぜんの儀ぎや地元関係者、受注者、発注者による鍬入れの儀等が執り行われ、無事に安全祈願祭を終えることができました。今後は事業の安全で円滑な推進ができるよう努めて参ります。



安全祈願祭の様子

■お問い合わせ 農業農村整備部農地整備第三班 Tel:0228-22-2402

中山間地域等直接支払研修会が開催されました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

令和元年12月18日（水）、栗原文化会館で「令和元年度宮城県中山間地域等直接支払協定活動支援研修会（大崎・栗原管内）」が開催されました。中山間地域等直接支払交付金事業は、平地と中山間地域の格差を是正するため、平成12年度からスタートした制度で、現在4期対策に取り組んでいます。

本研修会は、令和2年度から始まる第5期対策への継続促進を図るため開催されました。当日は、栗原管内と大崎管内の計139名の方が参加しました。本研修会では、他管内の事例紹介や、近年増加傾向にある鳥獣害対策について、合同会社東北野生動物保護管理センターの鈴木淳氏から、中山間地で出来る役に立つアイデア集を、一般社団法人農山漁村文化協会の橋本康範氏からご講演をいただきました。出席した組織の方からは活発な質問や意見が取り交わされました。



研修会の様子

■お問い合わせ 農業農村整備部管理調整班 Tel : 0228-22-2458

令和元年度栗原管内農地集積研修会を開催しました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

当所農業農村整備部では、効率的な経営に向けた大区画ほ場の農地整備と併せ、収益性の高い転作作物（※以下、高収益作物）の導入や、担い手の育成を推進しています。

こうした取組をさらに推進するため、令和元年12月17日（火）、栗原市若柳ドリーム・パルを会場に、農地整備実施・計画地区の担い手や市、土地改良区、JAなどの関係機関を対象とした「令和元年度栗原管内農地集積研修会～これからの地域農業に向けて～」を開催し、計104名が参加しました。

研修会では、株式会社愛宕産土農場の佐藤均氏と有限会社川口グリーンセンターの白鳥正文氏から、地域との合意形成や後継者育成のポイント、任意組織から法人に移行するまでの経緯、高収益作物の取組及び今後の経営方針等について講演が行われました。

また、当部担当者から農地整備を契機とした高収益作物の導入と管内の実践事例について、みやぎ農業振興公社の担当者から農地集積手法の1つである農地中間管理機構と農地整備事業の連携方法について、情報提供が行われました。高収益作物の実践事例として栗原市金成津久毛地区における加工業務用ばれいしょの取組について説明したところ、参加した担い手から「今後の取組を検討したい」「今後も加工業務用ばれいしょ等の高収益作物に関する研修会を開催してほしい」等、意欲的な意見をいただきました。

この研修会を通して、さらなる農地集積の推進、高収益作物の導入、担い手の育成に繋がることが期待されます。



会場の様子



(株)愛宕産土農場 佐藤代表の講演



(有)川口グリーンセンター 白鳥代表の講演

■お問い合わせ 農業農村整備部管理調整班 Tel : 0228-22-2398

令和元年度栗原地域農業経営セミナーを開催しました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

今後の農業経営における人材確保や雇用定着等の経営戦略を考える一助とするため、令和2年2月4日（火）に栗原市内の認定農業者、農業法人等を対象に「令和元年度栗原地域農業経営セミナー」を開催しました。

講演の講師には、社会保険労務士・中小企業診断士・行政書士である、すずき労務経営コンサルタントの鈴木大輔氏をお迎えし、「農業経営における労務管理と人材育成について」と題して、若者が持つ農業に対するイメージや求職内容、魅力を感じる職場環境等のあり方や雇用環境整備に必要な社会保障制度、人材マネジメント等について御講演をいただきました。また、意見交換では、講演の質疑応答のほか、法人経営者からの組織運営における苦労話などの事例紹介もあり、活発な意見交換が行われました。

出席した農業者40名は、全員熱心に聴講し、今後の農業経営を考える上で有意義なセミナーとなりました。



講演する鈴木大輔氏

■お問い合わせ 農業振興部先進技術班 Tel : 0228-22-9404

令和元年度栗原市畜産講演会が開催されました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

令和元年度栗原市畜産講演会が、令和2年1月29日(水)に栗原市内の「この花さくや姫プラザ」において、栗原市農業振興協議会主催で開催され、約150名の生産者及び関係機関職員が参加されました。この講演会は、肉用牛の飼養管理技術や畜産情報等の研修により、栗原の肉用牛農家の生産性向上、畜産経営の改善を目的として毎年開催されています。

本年度は、「繁殖牛の飼養管理について」と題して、宮城県農業共済組合家畜診療研修所損防指導課課長、松田敬一獣医師が講演されました。内容は、肉用牛において一番大事な子牛生産を妨げる母牛の繁殖障害を回避するための飼養管理や疾病予防について、具体例を交えながら、わかりやすく解説され、生産者の方々には大変有意義な時間となりました。

また、新みやぎ農業協同組合栗っこ営農部畜産センター繁殖牛グループの千葉圭倫氏から、「第68回鹿児島県畜産共進会の報告について」と題して、肉用牛生産の先進地での取り組みが紹介されました。さらに、全農宮城県本部畜産部生産指導課課長、千葉勝彦氏からは、令和4年に開催される「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会に向けた取組について」と題して、宮城の出品牛が優秀な成績を収めるための「牛づくり」に関する情報提供をいただきました。



宮城県農業共済組合松田課長の講演



講演会に参加した生産者の方々

■お問い合わせ 畜産振興部畜産振興班 Tel : 0228-22-2487

「会席料理 丸勝」が地産地消部門の特別賞を受賞しました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

令和元年度食材王国みやぎ推進優良活動表彰で、一迫地区「会席料理 丸勝」様が、地産地消部門の特別賞を受賞し、去る1月28日に仙台市内で表彰式が行われました。

レンコンやパプリカ、岩魚などの栗原産食材をふんだんに使用し、栗駒山麓ジオパーク特産商品としても認定されている「栗駒山麓のめぐみ・迫野御膳」を提供していることや、“食”を通じて地域を盛り上げている活動、更には、栗原地域の食文化を広める活動などが高く評価されました。

「会席料理 丸勝」の阿部朗代表は、受賞報告の際「これからも、栗原の食文化の魅力を発信していきたい」と力強い抱負を述べられました。

令和元年度食材王国みやぎ推進優良活動表彰結果

ホームページアドレス

<https://www.pref.miyagi.jp/site/shokuzaipartner/r1shokuouhyoushou.html>



表彰式記念撮影



栗原地域事務所へ受賞報告

■お問い合わせ 地方振興部商工・振興班 Tel : 0228-22-2195

栗原地域農泊・民泊研修会を開催しました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

令和2年1月21日(火)午後、栗原市伊豆沼交流センター研修室を会場に、当所主催で「栗原地域農泊・民泊研修会」を開催しました。この研修会は、農泊・民泊に関心を持っている方等を対象に、実践者の事例を紹介することで、今後の開業に役立ててもらおうと開催したものです。当日は天候に恵まれたこともあり、50名を超える参加者がありました。

第1部の事例発表では、柴田町で古民家シェアスペース「柚子のあぜ道雨乞のかえる」(ゆずのあぜみちあまごのかえる)を運営する嶋崎康二氏と、一関市で民泊&ゲストハウス「岩手泊験またきたい」(いわてはっけんまたきたい)の管理人を勤める菊池真氏が、農泊・民泊に取り組み始めた経緯や喜び・やりがい、将来目標等をくわしく紹介しました。

第2部の意見交換では、事例発表の2名にくりはらファーマーズプロジェクト 代表 伊藤秀太氏とくりはらツーリズムネットワーク 事務局長 大場寿樹氏が加わり、「栗原市で農泊・民泊をやるためには」をテーマに、経営や情報発信・おもてなし等について熱く持論を交わしました。さらに会場からも許可申請手続きや近所づきあい、食事等について踏み込んだ質問が出て、熱気に包まれた研修会となりました。



第1部 事例発表



第2部 意見交換

■お問い合わせ 地方振興部商工・振興班 Tel : 0228-22-2195

【観光情報】楽しみがいっぱい 春のくりでんミュージアム

北部地方振興事務所栗原地域事務所

くりでんミュージアムには、平成19年に廃線となったくりはら田園鉄道（通称「くりでん」）の貴重な資料や、沿線を再現したジオラマ、当時の車両の展示のほか、実際に営業運転していた車両の運転席で体験する運転シミュレーターなどがあり、見て・触れて・体験できる施設です。毎年、4月からは隣接する旧若柳駅で、レトロ調車両のKD95乗車会や、爽やかな風を体感できるレールバイク乗車会が始まります。懐かしい硬券切符や木製の改札口、腕木式信号機など昭和の雰囲気を感じることができます。ぜひ家族連れでお越しください。

住 所 栗原市若柳字川北塚ノ根17-1

電話番号 0228-24-7961

※乗車会開催日程はHPなどをご確認ください。



沿線を再現した精密なジオラマ



運転シミュレーター



レールバイク乗車会

■お問い合わせ 地方振興部商工・振興班 Tel : 0228-22-2195

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

北部地方振興事務所栗原地域事務所

令和元年12月16日から令和2年2月12日までの間に、農産物27点、特用林産物1点の放射能検査を行い、すべてが食品の基準値（100ベクレル/kg）以下でした。

このように、市場に流通している農林産物は、計画的に検査して安全性を確認しておりますので、安心してお召し上がりください。

平成30年11月13日付けで「くさそてつ（こごみ）」の、平成31年2月14日付けで旧一迫町の「たけのこ」の出荷制限が解除されました。

栗原市産の「こしあぶら」、「たらのめ(野生)」、「野生きのこ」の3品目の山菜類については、引き続き出荷制限指示を受けており、市場や直売所等には出荷できません。

（「原木しいたけ(露地)」及び「たけのこ」は出荷制限、「原木むきたけ」は出荷自粛が続いています。ただし、これらは一部地域(登録生産者)のみ出荷できる状況です。詳しくは、林業振興部にお問い合わせください。）

☆放射能検査の測定値が基準値以下であったもの（12/16～2/12）

農産物			林産物			
品名	施設	露地	品名	施設	露地	野生
かぼちゃ	—	◎	なめこ（1点）	◎	—	—
寒締めほうれんそう（3点）	◎	—				
キクイモ（2点）	—	◎				
キャベツ（3点）	—	◎				
ごぼう	—	◎				
こまつな	◎	—				
さといも（2点）	—	◎				
サラダだいこん	—	◎				
じゃがいも	—	◎				
だいこん（2点）	—	◎				
たまねぎ	—	◎				
チンゲンサイ	—	◎				
つぼみ菜	—	◎				
ねぎ	—	◎				
ほうれんそう（2点）	—	◎				
ヤーコン（2点）	—	◎				
ゆきな	◎	—				
わさびな	—	◎				

◎：基準値以下 —：検査未実施

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel：0228-22-9437（農産物）
林業振興部 林業振興班 Tel：0228-22-2381（林産物）

※放射性セシウム濃度基準値

食品群	基準値(1kgあたり)
飲料水	10ベクレル
乳児用食品	50ベクレル
牛乳	50ベクレル
一般食品	100ベクレル

詳しくは厚生労働省HPをご覧ください
(http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html)

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel：0228-22-2195(直通) Fax：0228-22-6284

e-mail：nk-khsinbk@pref.miyagi.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>